

国土交通経済（平成14年5月・6月分）の概況

【公共工事受注（6月）】

～このところ平成13年度第2次補正予算の効果がみられるものの、総じて低調に推移している。

工事受注額は前年同月比20.2%減少（2ヶ月ぶり、4-6月累計は前年同期比10.8%減少）、
大手50社受注額は同39.2%減少（2ヶ月ぶり、4-6月累計は同18.3%減少）。

【住宅建設（6月）】

～基調としては弱含み。

新設住宅着工戸数は、総計101,502戸、前年同月比0.3%増加（2ヶ月連続）となった。
季節調整済み年率換算値は110万3千戸で、前月比13.1%減少（3ヶ月ぶり）。

【民間非住宅建設（6月）】

～基調としては減少している。

民間設備投資の先行指標である民間非居住用建築物着工床面積は、事務所・店舗は増加したものの工場・倉庫は減少したため、全体で前年同月比0.4%減少（2ヶ月ぶり）。

【貨物交通（5月・6月）】

（1）国内輸送

～トラック、航空、鉄道いずれも減少している。

トラック（特積）は、5月前年同月比5.3%減少（17ヶ月連続）、トラック（一般）は5月同3.8%減少（16ヶ月連続）となった。一方、宅配は、5月同11.3%増加（5ヶ月連続）となった。
航空（速報：3社）は、6月同7.3%減少（17ヶ月連続）。鉄道は、6月同7.6%減少（11ヶ月連続）。

（2）国際輸送

～航空は輸出が増加幅を拡大したが、輸入はおおむね横ばい。

外国航空会社を含む航空貨物量（速報：成田・関空調べ）は、輸出が6月前年同月比26.2%増加となった（3ヶ月連続）が、輸入は、5月同2.2%増加の後、6月は同0.1%減少に転じた。我が国航空会社の輸送量（速報5社：輸出＋輸入）は、6月同19.0%増加（4ヶ月連続）となった。

【旅客交通（5月・6月）】

～鉄道は低調に推移。国際航空は、ワールドカップ開催の影響もあり減少幅を拡大。

鉄道は、JR6社が5月前年同月比0.5%減少（2ヶ月連続）民鉄は、5月同0.6%減少（2ヶ月連続）となった。国際航空（邦社）は、ワールドカップ開催による日本人の海外出控え等により、6月同11.3%減少（10ヶ月連続）となった。国内航空（速報：9社）は、6月同3.1%減少（3ヶ月連続）となった。

【観光（6月）】

～海外旅行取扱額、国内旅行取扱額いずれも減少幅を拡大。

海外旅行取扱額（主要50社）は、6月前年同月比15.1%減少（10ヶ月連続）となった。出国日本人数は、ワールドカップ開催の影響等により、6月同14.3%減少（10ヶ月連続）となった。
国内旅行取扱額（主要50社）は、6月同9.1%減少（4ヶ月連続）となった。